

平成二十九年 東京藝術大学 大学院音楽研究科 (修士) 入学試験 (問題・解答) 用紙  
 実施日時: 平成二十八年九月二十四日(土) 十三時〇〇分〜十四時三〇分

科 目	受験生記入欄		(ア)
国語古文(邦楽)	専攻科	声種	受験番号
		楽器	
二枚のうち一枚目		番	(イ)

問題 次の文章(『西播怪談実記』巻二の八「網干村獵夫発心の事」)を読んで、以下の問いに答えなさい。

この部分につきましては、著作権法上の問題から掲載することができません。

北城伸子校訂『西播怪談実記』巻二の八「網干村獵夫発心の事」より(堤邦彦・杉本好伸編『江戸怪異綺想文芸大系第五巻』近世民間異聞怪談集成、国書刊行会、二〇〇三、四二二頁〜四二三頁)

問一 文中の「翌未明に彼役人きたりて、く是非もなし」までをわかりやすく現代語に訳しなさい。

問二 獵師夫妻の発心の覚悟について、文章の中身に触れながらあなたの考えを述べなさい。

平成二十九年 東京藝術大学 大学院音楽研究科 (修士) 入学試験 (開題・解答) 用紙  
 実施日時: 平成二十八年九月二十四日(土) 十三時〇〇分〜十四時三〇分

科目	国語古文(邦楽)	受験生記入欄	受験番号
科目	二枚のうち二枚目	専攻科 声種 楽器	番

(ア)

(イ)

【解答用紙】  
問一

問二